

# DAWN 通信

## 新しい年の始まりのご挨拶

2021年、新しい年を迎え皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

相互の理解のために必要なかわり方として、個の時間、対面での交流、それぞれの有用性を改めて強く深く感じ取れ、その在り方を考えさせられた昨年でした。財団事業運営においてはまだまだ大変厳しい状況が続いておりますが、社会に貢献できる取り組みをしっかりと考えながら、牛歩ではありますが一歩ずつ確実に歩んでいきたいと考えております。

## 「アフターコロナ時代における男女共同参画社会づくりに向けて」

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の流行は、雇用の現場や日常生活におけるジェンダーに起因する問題を顕在化させるとともに、流行の長期化により、その影響の深刻さが浮き彫りになってきました。

この感染拡大は、経済活動の制限を余儀なくし、就労の機会の減少を招きました。特に、相対的に女性の割合が多い非正規労働者は、解雇、休業、退職を余儀なくされました。政府の統計によると、昨年4月～10月の完全失業者数は増加し、同年8月の女性の完全失業者数は、2015年10月以降最多の88万人とされています。このような解雇等による就労収入の減少の影響は、特に母子世帯の生活に大きな影響を及ぼし、母子世帯の困窮状態の深刻化をさらに進めることにつながりました。

また、外出自粛要請や在宅ワークの推奨の影響により、家庭におけるDVや児童虐待が顕在化、深刻化し、これらに起因する相談も増加傾向にあります。内閣府の統計によると、配偶者暴力相談支援センター等における昨年4月～11月の相談件数は、前年前月の約1.5倍で、すでに2019年度全体の相談件数(119,276件)を大きく上回っています。さらに、安全な居場所がなくなったことによる、SNSを介した性暴力被害等の増加傾向も指摘されているところです。新型コロナウイルス感染拡大による雇用や家庭生活におけるジェンダーに起因する問題の影響の深刻さは、女性の自殺者の増加という形でも表面化することとなりました(警察庁の統計によると、女性の自殺者数は、2020年12月は592人(対前年同月113人増)。対前年同月では、7か月連続の増加。)。このような状況に対応するためには、緊急的な支援に加え、これまで男女共同参画に取り組む団体等が弛まず続けてきた、困難や生きづらさを抱えている女性たちが安心して相談し、情報を得ることができる場所づくりや、ジェンダーに基づく差別意識を変えていく啓発活動等、環境の変化に対応し求められる事業を今後も継続していくことです。

このような時こそ、女性相談、シングルマザー支援、男女共同参画に関する情報・関連図書等の情報、行政・事業者等を対象とした研修、そして次世代を担う若年女性を対象とした啓発等、男女共同参画社会づくりの推進に向けて多角的に取り組んできた、これまでの経験を活かすときではないでしょうか。

## contents

- 新しい年の始まりのご挨拶
- アフターコロナ時代における男女共同参画社会づくりに向けて
- ドーン財団の事業の取り組み
- ご寄附の御礼





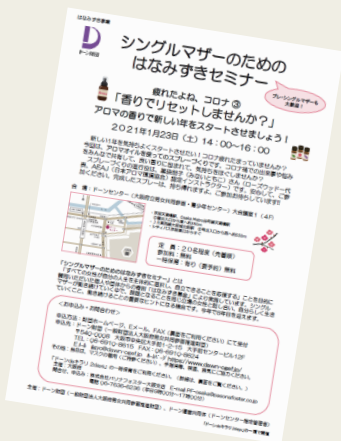
## ドーン財団の事業の取り組み

当財団は、「受け止め・寄り添う」「支え・応援する」「未来を育てる」「地域における男女共同参画の推進」というコンセプトのもと、行政、民間、地域、人をつなぎ、誰もが自分らしい人生を選択し、互いに尊重し合える社会を目指しています。今回は、当財団の主な取り組み例をご紹介します。

### 【自主事業】次世代・子育て世代とのかかわりを大切にしていきたい

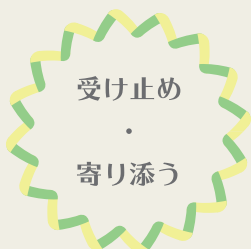


当財団では、3年前から女子高校生を対象に、ジェンダーにとらわれず、自分らしい生き方を考えるセミナーを実施しています。セミナーでは、専門家や多様な経験をもつ働く女性たちのサポートのもと、同世代とのディスカッションをとおして、ジェンダーに関する問題について学んだり、将来への不安や想いを共有することにより、自らが方向性を作り、自分らしく未来を切り開いていくきっかけづくりを行っています。これからも、このような次世代の育成に向けた取組を、大切にしていきたいと考えています。



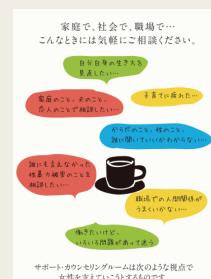
「シングルマザーのためのはなみずきセミナー」として、シングルマザー、プレ・シングルマザーの方が、日ごろの不安や悩みを共有したりすることにより、ほっと一息つける機会づくりを継続して行っています。また、シングルマザーのためのグループキャリアカウンセリングも行っています。このように、同じ立場の女性たちが、安心してゆるやかに交流できる場所づくりや役立つ情報の提供等をとおして、シングルマザー、プレ・シングルマザーの方々が、不安や悩みを一人で抱え込むことなく、自分らしく歩みを進められるような支援を今後も続けます。

### 【相談事業（受託事業）】（大阪府男女共同参画推進のための相談等事業／おおさか不妊専門相談センター事業）



大阪府の男女共同参画推進のための相談等事業として実施されている、「女性相談」（電話相談、面接相談、法律相談、SNS相談、サポートグループ）、「男性相談」（電話相談）及び府内の市町村における相談事業担当者の方を対象とした会議等を担っています。

相談事業では、家庭、社会、職場で出会う様々な悩みや生きづらさをもとに受け止め、問題を整理し、解決のための一歩を踏み出す応援をしています。



おおさか不妊専門相談センター事業（大阪府市共同運営）では、安心して不妊・不育に関する悩みを話せる場として、不妊・不育等に関する専門相談員による電話相談、女性産婦人科医師による面接相談及び助産師によるサポート・グループの運営を担っています。また、不妊・不育に関するセミナーも行っています。



## 【モアいずみ（和泉市男女共同参画センター）】ともに地域の連携を進めていきたい

### 地域における 男女共同参画 の推進

当財団は、昨年8月から、和泉市男女共同参画啓発業務を受託しました。啓発事業を行うにあたっては、長年、同市内において男女共同参画の推進に向けた活動を続けてこられた市民や団体の方々や、大学等と協働するなどし、地域の多様なニーズに応える形で講座等を実施しています。モアいずみが、地域の男女共同参画を推進していく発信基地の役割を果たせるよう、これからも、行政、市民の方々、地域の社会資源をつなぎ、男女共同参画社会に関する啓発事業を展開していきたいと思ひます。



### 【報告】モアいずみフォーラム

和泉市では毎年、女性と男性がいきいきとあらゆる分野に参加・参画できる男女共同参画社会をめざし「モアいずみフォーラム」開催しています。今年は「新しい社会を私らしく生きていく」と題して、牧野丹奈子(桃山学院大学学長)の講演(オンデマンド配信)をおこないました。

## 【東大阪市立男女共同参画センター イコーラム】

### 地域における 男女共同参画 の推進

当財団は、東大阪市立男女共同参画センター「イコーラム」の指定管理業務を2011年から担っています(現在3期目(2019年~))。この間、イコーラムでは、男女共同参画に関する情報・図書の提供、男女共同参画社会を推進するための講座や講演会等の開催(いこう!らむカレッジ、女性応援セミナー、男性のための講座、起業入門セミナー、文化・表現活動支援講座、こころとからだの講座はじめ講演会)、市民の交流機会や登録団体の発表会の場の提供(イコーラムフェスタ)、相談事業(女性のための相談、男性のための相談等)を実施してきました。今後も、市の男女共同参画推進計画に基づき、地域における男女共同参画推進の拠点として、さまざまな年代の方への情報発信、啓発、相談、交流機会の提供などをおこなっていきます。



### 【お知らせ】2021年1月~3月の主な事業

1月の講座はお母さんのためのアンガーマネジメント、在宅避難をテーマとした防災講座、男女共同参画から考えるSDGs、2月、3月は本を好きになる講座、シネマ、自主事業、市民協働事業講座をおこないます。また、事業推進委員会や登録団体の皆さんと協働で開催する「イコーラムフェスタ」は2月20日、21日実施予定です。

## 【大阪府立男女共同参画・青少年センター「ドーンセンター」】新しい展開に向けて

当財団は、令和3年度から5年間、大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)の指定管理者に内定した「ドーン事業共同体」の一員として、ドーンセンターに携わることとなりました。これからの展開については、今後お知らせしていく予定です。

### 広域的な 男女共同参画 の推進





## ドーン財団へのご寄付の御礼

ドーン財団は1994年に設立され、様々な時代の波にもまれながらも多くの皆様や団体の支援、励ましを受けながら、社会に必要とされる法人でありたいと願い、様々な事業発信に取り組んでまいりました。広く皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。今後さらに持続可能性を目指し、共に社会に貢献できる未来を目指し、引き続き皆様からのご支援を得ながら事業に取り組んでいければと考えております。寄附を通じて何か社会貢献できないかとお考えの方々に「遺贈寄附」を設けました。広く周知へのご協力いただければ幸いです。

### 【事業支援を通じた社会貢献の一例】



ドーン財団では、当財団の活動にご賛同いただいた皆様の想いや、社会貢献への想いを寄附金として広く受け付けております

#### 賛助会

当財団の活動主旨に賛同し、共に歩んでくださるみなさまの入会をお待ちしています。賛助会員のみなさまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。

個人会費	一口	3,000円
団体会費	企業等	一口 10,000円
	非営利団体	一口 5,000円

#### はなみずき募金

事業趣旨に賛同くださいました団体や企業、個人の皆様からの寄附をお受けしております。お寄せいただいた寄附金は、事業の運営に活用いたします。賛助会費とは違い、期間などは設けておりません。どなたでも500円から受け付けております。



#### 遺贈

財団の趣旨にご賛同いただき、ご自身の財産を男女共同参画社会の推進のために役立てたいという、社会貢献の想いを寄附として受けております。

ご寄附については財団寄付金取扱規程に基づき適切に運用させていただきます。

【寄付者・団体数（2021年1月時点）】

- ◆賛助会  
個人 49名、企業・団体 8件
- ◆はなみずき募金  
個人 13名、団体 3件



ドーン財団のSDGsの主な取組は、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」です。



ただいま、財団の最新情報発信中!

Web <https://www.dawn-ogef.jp/>

ドーン財団 検索



[https://twitter.com/O\\_G\\_E\\_F](https://twitter.com/O_G_E_F)



編集・発行元情報  
ドーン財団（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団）  
〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-2-15 大手前センタービル 12F  
TEL 06-6910-8615 / FAX 06-6910-8624  
Email info@dawn-ogef.jp

ドーン財団とは、ドーンセンター（大阪府男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26年（2014）年度に決めました。ドーンセンターは、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語 DAWN と、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。